

山梨リニア実験線見学会に参加

実験線は、目下延伸工事中 —— 工事周辺地に問題山積

2012年2月22日 脱原発かわさき市民 天野捷一

2月21日に天野・伊藤のふたりが、長野県大鹿村でリニアに取り組む会の主催した山梨リニア実験線の見学会に、同行しました。大鹿村からは8人が参加しました。

午前10時15分、中央自動車道甲府南インター出口で合流し、「大鹿村立中央構造線博物館」の学芸員・河本和朗さんの案内で車2台で工事関係現場を視察しました。日本地質学会名誉会員で理学博士（伊那谷自然友の会）松島信幸さんも同行しました。

◆境川の残土集積場

甲府南インター近くの桃島と宅地に囲まれた広大な谷間に、実験線延伸工事で出た土がダンプで引っ切りなしに運び込まれていました。これは宅地に造成する名目で県から40億円も注ぎ込まれているとの事。松島さんは「廃土はもろいので住宅を建てると液状化などの危険がある」と指摘しています。



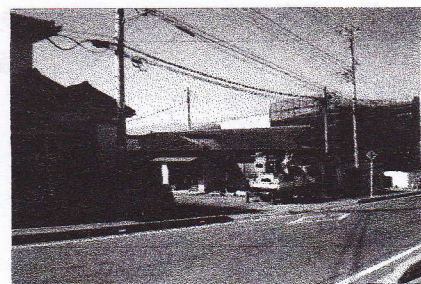
◆坊が峰から残土集積場を一望



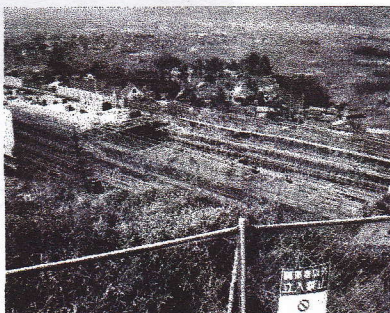
前述の集積場から丘を隔ててもう一か所集積場があり、かなりの速さで谷が埋められていました。坊が峰は小高い丘で、頂上にはNHK、山梨放送、テレビ山梨の送信塔があり、展望台からは南アルプス、赤石山脈の白い山並みを背景に甲府盆地が一望できました。

◆笛吹市御坂の実験線延伸工事現場

民家のすぐわきで高架線路の工事が行われていました。ほんとに家の間近です。近くで見ると高速道路の工事のような感じです。隣で高速道路が作られているとしたら大迷惑です。しかし補償や迷惑料の支払いなどは無いそうです。



◆笛吹市花鳥山に登る。延長工事現場を一望



展望台からは、甲府市内へ伸びる実験線の工事中の高架軌道が一望できる。まさに直線がずっと伸びている。展望台で地元の人と話しましたが、「甲府でリニアに反対している者は居ない」「早くできて一度乗ってから死にたい」と話していました。